

JICAのアフリカ支援実績(2015年度)

研修員受入



12,632人

専門家派遣



2,172人

調査団派遣



1,863人

ボランティア派遣

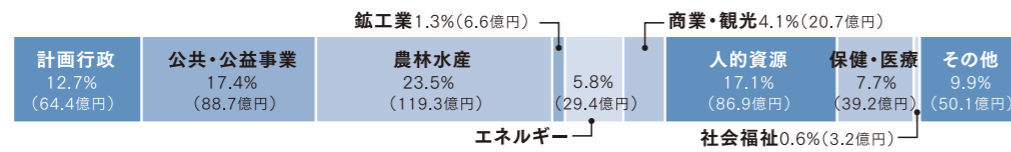


436人

※2015年度新規分

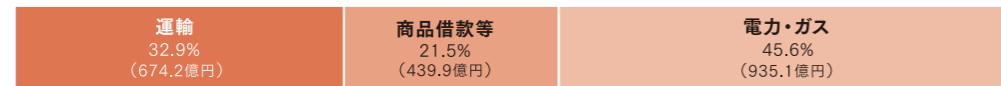
■ 技術協力

約508億円



■ 有償資金協力(円借款)

約2,049億円



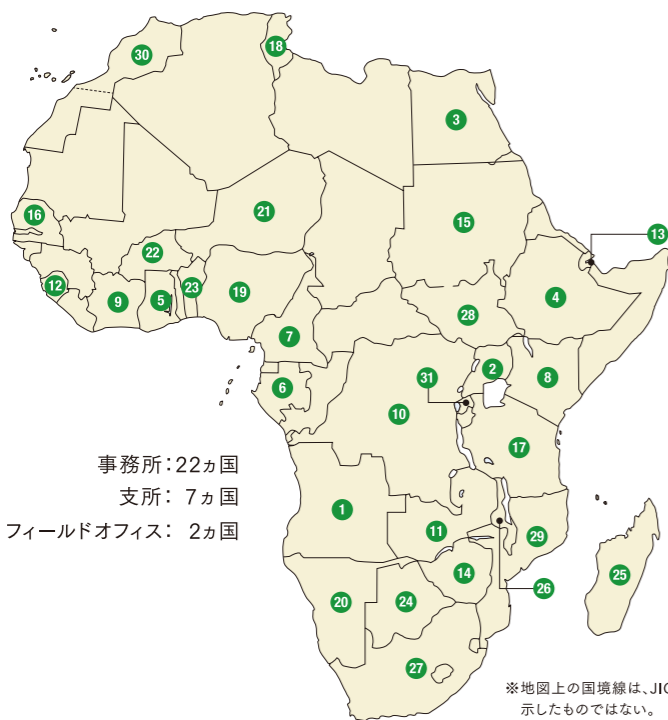
■ 無償資金協力

約403億円



※1千万円以下四捨五入/有償資金協力はL/Aベース/無償資金協力はG/Aベース

アフリカにおけるJICAの在外拠点



- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 アンゴラフィールドオフィス | 17 タンザニア事務所 |
| 2 ウガンダ事務所 | 18 チュニジア事務所 |
| 3 エジプト事務所 | 19 ナイジェリア事務所 |
| 4 エチオピア事務所 | 20 ナミビア支所 |
| 5 ガーナ事務所 | 21 ニジェール支所 |
| 6 ガボン支所 | 22 ブルキナファソ事務所 |
| 7 カメルーン事務所 | 23 ベナン支所 |
| 8 ケニア事務所 | 24 ボツワナ支所 |
| 9 コートジボワール事務所 | 25 マダガスカル事務所 |
| 10 コンゴ民主共和国事務所 | 26 マラウイ事務所 |
| 11 ザンビア事務所 | 27 南アフリカ共和国事務所 |
| 12 シエラレオネフィールドオフィス | 28 南スーダン事務所 |
| 13 ジブチ支所 | 29 モザンビーク事務所 |
| 14 ジンバブエ支所 | 30 モロッコ事務所 |
| 15 スーダン事務所 | 31 ルワンダ事務所 |
| 16 セネガル事務所 | |

JICAの アフリカ支援

“QUALITY AND EMPOWERMENT”

TICAD V (2013-2017)
TICAD VI (2016-2018)

官民パートナーシップによるアフリカへの取り組み

2016年8月に、第6回アフリカ開発会議(TICADVI)がはじめてアフリカ・ケニアで開催されました。前回2013年のTICADV以降、アフリカでは、①世界的な一次産品の価格下落、②エボラ出血熱の流行、③暴力的過激派の拡大等、新たな課題に直面しています。これら課題に対して、日本政府は、2016年から2018年の3年間で、ナイロビ宣言の3つの優先分野に則し、我が国の強みである質の高さ(クオリティ)を活かした約1,000万人への人材育成(エンパワーメント)と、官民総額300億ドル規模の質の高いインフラ整備や保健システム構築、平和と安定の基礎づくり等のアフリカの未来への投資を約束しました。JICAは、この公約を推進すべく、国内外のパートナーとともに様々な取り組みを進めます。

経済の多角化・産業化を通じた
経済構造改革の促進

“QUALITY AFRICA”

繁栄の共有のための
社会安定化促進

“STABLE AFRICA”

質の高い生活のための
強靱な保健システム促進

“RESILIENT AFRICA”



※このパンフレット内に記載したTICAD V、TICAD VI支援策はJICA関連分についてまとめたものです。

独立行政法人 国際協力機構 アフリカ部

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル
TEL: 03-5226-6660~6663(代表) <http://www.jica.go.jp/>
「アフリカひろば」特設サイト <http://www.jica.go.jp/africahiroba>

2016年12月

